

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(安保塗装 株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・社員の子育て応援宣言(長野県)に登録している					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8										16.1	
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・長時間労働は正のため、労働生産の改善、時間管理・勤務体制の整備・対応を行っている							8.5 8.8											
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人技能実習生を迎えるに当たり適切な待遇や労働環境の整備を行っている				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3									
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・作業中の保護具の着装を徹底している ・事故の事例などを社内掲示板に張り出し注意喚起を行っている		3					8											
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・協会けんぽ長野支部「健康づくりチャレンジ宣言」を行っている		3																
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・雇用期間を延長し、高齢者も働いてもらえる環境を整えている ・現在女性作業員を工場に配置しており、今後とも適材適所で女性登用を推進していく				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・業務に必要な資格・免許の取得を積極的に推進している(会社負担)			4	5.5			8	9										
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等に沿った体制の整備・対応を行っている				5.5			8.5		10.2 10.3									
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・全社員の健康診断、特殊健診等を毎年行っている ・協会けんぽ長野支部「健康づくりチャレンジ宣言」を行っている		3					8											
環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・工事現場等から生ずる廃棄物の分別を徹底し、マニフェストにて管理している ・長野県産業廃棄物3R実践協定を締結している													11.6	12		14.1		
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	自社のエネルギー使用量等の把握を行う							7.3								13			
	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・CO2の排出量を半減できる循環式プラスト工法⑥を採用している						7.2 7.3							12.4	13.3				
	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・自社で特別産業廃棄物収集運搬許可を取得 ・石綿調査診断士が所属している		3.9		6.3									11.6	12.4				

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	<input type="checkbox"/>	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境に配慮した材料・製品を使用し、生物多様性に配慮している							6.6									15		
	<input type="checkbox"/>	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・長野県産業廃棄物3R実践協定を締結している ・ペーパーレス化の推進、コピー用紙の再利用をしている													13	14.1				
	<input type="checkbox"/>	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・地下水(井戸水)設備を所有し、緊急事態に備えている					6.4	6.6												
	<input type="checkbox"/>	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9		6	7							12	13.3	14	15		
	<input type="checkbox"/>	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・工事で発生する廃棄物を1/40に削減可能とする循環式プラスチック工法®を扱う(一社)日本鋼構造物循環式プラスチック技術協会の会員であることをHPにて開示している													12.6					
	<input type="checkbox"/>	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ							7.2								13				
	<input type="checkbox"/>	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・地下水(井戸水)利用設備を設置している													12.2	13	14	15		
公正な事業慣行	<input type="checkbox"/>	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄防止に関する条項を社内に掲示、周知徹底している																16	16.5	
	<input type="checkbox"/>	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為に関する条項を社内に掲示、周知徹底している																16		
	<input type="checkbox"/>	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	当社の知的財産である各種情報を保護する為、PCIに制限を設け外部への流出を防いでいる					8.2	8.3	9											
	<input type="checkbox"/>	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社員の個人情報については担当者を定め、厳重に保管している																16		
	<input type="checkbox"/>	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																		16	
	<input type="checkbox"/>	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・(一社)倫理研究所の会員会社として、社員に冊子を配布し倫理教育に努めている				5		8	10		12	13	14	15	16	17				
	<input type="checkbox"/>	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	パートナーシップ構築宣言を作成・公表している		3				8	9	10									17	

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法は[こちら](https://www.biz-partnership.jp/)。<https://www.biz-partnership.jp/>

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進労働者表彰、森林認証制度、森林CO2吸收評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
 - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
 - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定